将来の効率的な維持管理を見据えたメンテナンスに向けて

秩父橋の直轄診断をきっかけに始まった、関東道路メンテナンスセンターによる秩父市へのメンテナンス支援。直轄診断を経て現在進められている秩父橋の修繕代行について、北堀市長と菱川センター長による意見交換が行われました。

菱川:今回の修繕工事では、秩父市民や秩父橋を利用されている方々から、お問い合わせをたくさんいただいており、日頃から秩父橋への注目度の高さを伺えます。皆さまからは見た目の変化について気にされている方が多いので、安全を第一にしつつそのような側面にも注意しながら工事を進めていく予定ですが、これについてはいかがでしょうか。

北堀:道路構造物はいかに丁寧にメンテナンスをしても、年数が経過することで劣化してしまうのが原則です。そこで、秩父橋もこのことを踏まえたときに、メンテナンスを実施するだけでなく、その後の維持管理にも大きく意味があります。道路構造物の一部材を補強したり、見た目を整えるなどのために塗り替えを行ったりすることで、また違った一面の秩父橋が見えてくると思います。それを今の状態のまま保存することとなると、市民も観光客の方々も「しっかり、メンテナンスしているのかな?」と不安に感じる方もいると思います。

秩父橋は本市における一つのシンボルですので、見た目やイメージが大きく変わることは避けたいですが、これからずっと古い状態であるよりも可能な限りきれいにしていただいて、市民や観光客の方々にご理解をいただきたいと思っています。

菱川:そうですね。腐食などの損傷も多いことから、この機会に可能な限りメンテナンスを行って、メンテナンスフリーを目指すことも一つの判断としてあると思います。

北堀:はい。この先10年、20年と長いスパンで考えると、折角のこの機会を逃さずにしっかりメンテナンスを行いたいと思っています。

菱川:そのとおりだと思います。関東地方整備局管内には、秩父橋のようなコンクリートアーチ橋がなく、このような構造体の修繕工事に携わることが初めてですので良い経験となっています。ぜひ、秩父市と二人三脚で、今回の修繕代行事業に係わる工事を進めていけたらと思っています。

北堀:こちらこそ、秩父市民と秩父市のために、どうぞよろしくお願いします。また、近年では毎年のように激甚化している自然災害が全国各地で発生しており、本市も令和元年10月に発生した台風19号では山地を中心に大きな被害を受けました。今後も、自然災害の可能性があるため、その際は災害支援の協力をお願いします。

菱川:承知しました。国土交通省では災害により被災した地方自治体に対してTEC-FORCEを派遣しており、関東道路メンテナンスセンター職員も現地に赴いています。また、災害後の道路構造物の現況調査についても、関東道路メンテナンスセンターに相談していただければ現地調査などの対応ができますので、ぜひお気軽にご相談ください。

建設から90年以上経過した旧秩父橋の現況

ホームページでは、修繕代行の内容等も紹介したスペシャル対談の詳細版を掲載しています。

国土交通省 関東地方整備局 **関東道路メンテナンスセンター**
〒330-0843 埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1丁目89番地1 タカラビル2階
TEL 048-729-7780 / FAX 048-729-7790

道路のメンテナンスに係わる相談

ホームページのお問い合わせフォームや電話にて、お気軽にご相談ください。

情報発信中！

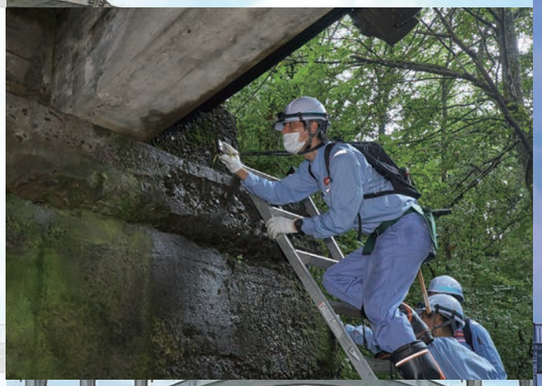
関東道路メンテナンスセンター　ホームページ　Facebook　Twitter

事業概要

今も、そしてこれからも道が道であるために

道路構造物管理実務者研修（橋梁初級Ⅱ）／千葉県松戸市内

地方自治体への技術支援／神奈川県小田原市



地方自治体への技術支援／長野県佐久市

地方自治体への技術支援／埼玉県秩父市

地方自治体への技術支援／神奈川県秦野市

道路構造物管理実務者研修（橋梁初級Ⅰ）／埼玉県草加市内

国土交通省 関東地方整備局
関東道路メンテナンスセンター

私たちの使命は

この先50年後、100年後も

道路が道路として、

その機能を維持し続けること

幸魂大橋／国道298号／北首都国道事務所管内
（ロープアクセスによる点検の様子）

関東道路メンテナンスセンターの主な役割

●急速に老朽化する社会資本の対策を強化するため、点検データ等を生かした、より戦略的・効率的なメンテナンスを推進

●直轄国道における橋梁等の健全性の診断等を担当、そのほか、蓄積されたメンテナンスデータの管理・分析による劣化予測や修繕計画の最適化、新技術の活用などアセットマネジメントによる道路メンテナンスの高度化を推進

●道路メンテナンスに係る地方公共団体支援として、施設の健全性の診断・修繕の代行、高度な技術を要する道路構造物保全に関する相談への対応、地方公共団体の職員等を対象とした研修についても担当

橋梁等のメンテナンスへの係わり

橋梁等の健全性の診断

橋梁等のメンテナンスに係わる研修講師

地方公共団体が管理する橋梁等の保全に係わる技術的支援

関東道路メンテナンスセンターの主な業務

●国道事務所が管理する橋梁等の健全性の診断

●アセットマネジメントの検討・導入
（メンテナンスデータの管理・分析等）

●メンテナンスに係わる技術的な支援

●橋梁等のメンテナンスに係わる技術研究開発

●地方公共団体が管理する道路構造物への直轄診断、修繕代行の支援

●地方公共団体が管理する道路構造物の保全に係わる相談窓口

●地方公共団体の職員等を対象とした研修・講習の講師

実 施 事 例

地方公共団体からの技術相談における
現地調査の実施（長野県佐久市【令和2年9月】）

地方公共団体職員等を対象とした
研修・講習の実施（神奈川県秦野市【令和3年6月】）

埼玉県秩父橋における直轄診断・修繕代行の実施
（左・直轄診断におけるアーチ支柱の調査の様子【令和元年8月】）
（右・修繕代行事業に係る関東道路メンテナンスセンター長と秩父市長の対談【令和3年10月】）

関東道路メンテナンスセンターの組織の構成

- 関東道路メンテナンスセンター長
  - 副所長
    - 保全対策官
    - 保全対策官
    - 建設専門官
    - 総務課（総務係・経理係）
    - 技術第一課（専門官・工務係・保全企画係）
      - 橋梁・歩道橋に係わること
    - 技術第二課（工務係・保全企画係）
      - 道路構造物（トンネル・シェッドなど）に係わること
    - 技術企画課（企画係・計画係）
      - DX（点検の効率化・遠隔臨場等）に係わること

●総務課の役割

職員の給与、服務、公文書管理、福利厚生及び共済組合など庶務に関する事務及び予算管理、支払、契約及び物品管理など経理に関する事務を担当しています。

●技術第一課・第二課・技術企画課の役割

直轄橋梁の点検支援・健全性診断、道路構造物保全に関する技術相談対応、国・地方公共団体職員向けのメンテナンスに係わる講習会講師などを担当しています。